



山岡 勇太

はじめに

今からおよそ 1,600 万年前、秩父地域の周辺には「古秩父湾」と呼ばれる海が広がっていました。平成 28 年 3 月 1 日、古秩父湾の誕生から消滅までの環境を示す 6 か所の露頭（地層の見える崖）と、古秩父湾に生息した哺乳類の化石 9 件が、「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群（以下、古秩父湾）」として国の天然記念物に指定されました。

令和 3 年度、この古秩父湾の普及啓発を目的として、秩父地区文化財保護協会に古秩父湾作業部会が設置されました。自然の博物館は、秩父地域の 1 市 4 町（秩父市、横瀬町、皆野町、長瀬町、小鹿野町）と共にこの部会に参画し、古秩父湾に関する様々なイベントを企画・実施しています。

古秩父湾 Instagram フォト & 書コンテスト

昨年、古秩父湾作業部会では、古秩父湾の新たな魅力発信を目的として「古秩父湾 Instagram フォト & 書コンテスト」を開催しました。本コンテストは、古秩父湾にゆかりのある地層や化石、風景の写真や、天然記念物の露頭名を書いた書道作品を、Instagram 上に投稿するというものです。作品は、秩父地区文化財保護協会の審査を受け、入賞者には豪華景品が贈られます。



写真 1. 写真部門最優秀賞作品 「パレオパラドキシアと星空」(goto_traveling さん)

令和 5 年度は、54 点の写真、26 点の書の応募がありました。写真部門では、秩父盆地の夜景やパレオパラドキシア生体復元模型を中心に、多くの美しい写真を投稿いただきました。中には 1 時間以上かけて撮影された作品や、思いがけない斬新な構図の作品もあり、審査を行った我々も目から鱗の内容でした。書道部門についても、個性豊かな多数の作品を投稿いただきました。中でも印象に残ったのは、最優秀賞の 2 点（写真 2）です。どちらの作品も力強い筆使いで書かれており、まるで迫力ある露頭の情景が頭の中に浮かんでくるようでした。

これらの入賞作品は、自然の博物館、川の博物館及び 1 市 4 町の社会教育施設等で巡回展示されています（令和 6 年 10 月 15 日まで。詳細は当館 HP をご確認ください）。

おわりに

最後になりましたが、本コンテストは令和 6 年度も実施予定です。今回からは Instagram のみならず、作品の直接持込みによる提出も受け付けます。詳しくは 10 月上旬以降に当館 HP をご確認ください。皆様のご応募をお待ちしております。

(やまおか ゆうた・学芸員)

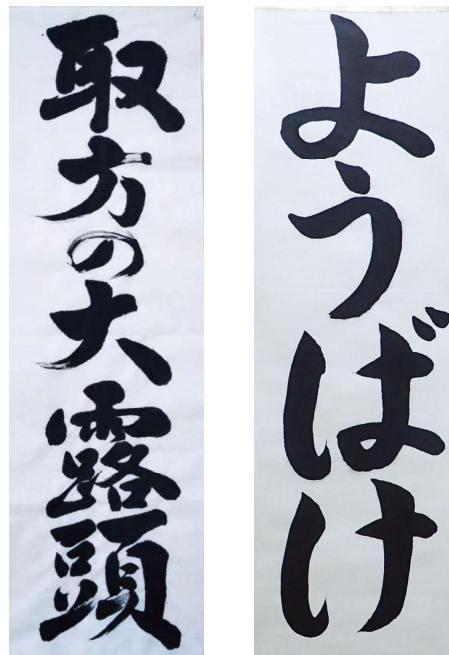


写真 2. 書道部門最優秀賞作品 取方の大露頭（木村英一さん）、ようばけ（piyo_928 さん）